

手話サロン

“聴覚に障がいをお持ちの方と手話を通してコミュニケーションを”

毎月1回、市役所で開催されている手話サロンに広報委員3名で参加しました。通訳者が同席してくださっているので、初心者の方たちでも安心して会話をすることができました。

手話は手指の動きだけでなく、表情や体も使って表現する「ことば」なのだと思感。今まで難しいと思っていたハードルが低くなった気がしました。



まちかど TOPICS

6歳の娘がテレビを見て手話を交えた歌とダンスを覚えたんです。それを見て私も手話を勉強したいと思いました。

「サイレント」というドラマを見て、難しいけど楽しいなと思い、市の手話講習会を受けました。人の役に立つ仕事をしたいので、手話通訳士を目指しています。

医療関係の仕事をしているのですが、患者さんの中に聴覚障がいの方がいて筆談を行っていました。でももっとコミュニケーションをとりたいて思って手話を習いました。

ハラスメントのない社会へ



ハラスメント防止研修会を開催
3月22日
講師：(公益財団法人)
茨城カウンセリングセンター
坂本秀雄氏

「ハラスメントについて考える～安心して暮らせる社会～」というテーマで議員全員を対象に研修を行いました。

具体的なハラスメントの例の説明を受け、被害者にも加害者にもならないことが重要であると改めて認識しました。

議員からは、「価値観の違いを許容して相手の話を傾聴、リスペクトすることが大切だと感じた」等の感想がありました。



- 広報常任委員会
委員長 山本 伸子
副委員長 水梨 伸晃
委員 磯山 和男
大森 和夫
伊藤 知子
出澤 基樹
高嶋 樹

(伊藤)の発行に編集委員一同、取り組んでまいります。

議会TOPICS

保健福祉常任委員会視察

1月17日 兵庫県神戸市
こども・若者ケアラー支援事業
市長特命の事業で、相談窓口の設置など先駆的な取り組みを行っている。

1月18日 兵庫県尼崎市
子どもの育ち支援センター「いくしあ」
子育てに関する相談など、子ども家庭総合支援を推進する拠点を見学。



編集後記

宮崎駿監督映画「君たちはどう生きるか」が、第96回アカデミー賞の長編アニメーション賞を獲得。監督は以前、子どもたちに「この世は生きるに値するんだ」と伝えるのが根幹になければならないと思ってきたと語り、これまでも作品には「生きる。」「生きねば。」などのキャッチコピーが。未来に希望を見だし、たくましく前進をとの願いが感じられます。春は卒業・入学・進級・就職のシーズン。「新たな世界」に一歩踏み出したあなたへエールを送ります。